

分科会 2

ピアスタッフに求めること

- コーディネーター： 磯田重行（日本ピアスタッフ協会会長／リハビリセンターくるめ施設長）
相川章子（日本ピアスタッフ協会監事／聖学院大学）
- シンポジスト： 菅原小夜子（NPO 法人こころ理事長）
鷹尾和顕（社会福祉法人つばめ福祉会理事長）
眞嶋栄（日本ピアスタッフ協会副会長／地域活動支援センターまるめるピアスタッフ）

近年、全国の精神保健福祉の現場でピアスタッフが活躍している話をよく聞きます。

私がピアスタッフの仕事始めて 18 年になりますが、当時はピアスタッフの存在がとても珍しがられ、今の
ような時代が来るとは想像もできませんでした。

最近は福祉の現場だけではなく医療の現場にも雇用されるピアスタッフが増えてきているようです。

それぞれの職場でピアスタッフに求められることは違ってくると思います。しかしピアスタッフの基本的な
姿勢、理念は共通することがあるはずです。

今、ピアスタッフに求められることは何なのか…。雇用する側、雇用される側の現状を知り、みんなで考え
を深めました。

ピアスタッフへの期待感は大きいです。日本の精神保健福祉の価値観を大きく変える力を持っていると感じ
ています。この感覚を、この分科会で多くの人と共有し、交流をすることができました。